「建交労とうきょう」はいつでもみなさまからの記事や写真を待っています。
（メール）tohonbukenkouro@smile.odn.ne.jp
ホームページ
http://www.kenkouro.com/

建交労 CTG とうきょう

建交労東京都本部機関紙

発行所
全日本建設交運一般労働組合東京都本部
〒135-0048
江東区門前仲町1-20-3
東京建設自労会館７階
電話 03（3820）8644（代）
fax 03（3820）8646
編集発行人　松田　隆浩
１部１５円組合費に含まれる（〒６０円）

建交労東京都本部第25回定期大会開催

「憲法を活かし、平和で公正な社会をつくろう。強くあたたかい労働組合運動を展開しよう」をスローガンに9月11日（日）建交労東京都本部は第25回定期大会を開催しました。新型コロナ第7波の影響が尾を引く中、2年連続でオンライン併用の大会となりました。傍聴や御来賓は出席を控えて頂き、全体で46名の参加でした。石塚副委員長の開会挨拶と大会諸役員の提案を受け、議長に三多摩支部の千葉光代議員と関東支部の浅井健一代議員が選出されました。冒頭の挨拶で松田委員長は「2022年は歴史的な大事件が起きた年として記録されるのではないか。9月8日にイギリス女王エリザベス二世が亡くなった。2月24日にはロシア軍がウクライナに侵略戦争を開始した。「民主主義＝アメリカ」ｖｓ「専制主義＝ロシア・中国」といったイデオロギー対立ではなく、各国の主権を尊重し国連憲章と国際法を守り守らせることでのみ世界平和を築くことができる。7月8日には奈良県内で選挙応援演説中に安倍晋三元首相が襲撃され死亡し、これをきっかけに自民党と旧・統一協会との関係表面化した。来年にはインボイス制度が導入される予定だが、深刻な不況を打開するために労働組合の賃上げ運動と、国民的に消費税を減税させることが重要だ。熱心な議論で方針確立と平和で豊かな日本をとりもどそう。」と訴えました。続いて、遠藤書記長より2021年度の経過報告、2022年度運動方針の提案がありました。中央本部の方針に基づき、コロナ禍の中でもトラック部会等の各業種が積極的に宣伝行動等を開催した1年だった事、第7期建交労東京学校をオンラインで開催し、継続的な取り組みとなっている事等が報告されました。また、エッセンシャルワーカーとして働く建交労の仲間の労働条件改善の重要性について強調し、特に建交労軽貨物ユニオンが組織拡大に成功した事例に学び、共済や情報提供を全面に掲げた組織拡大を展開する事が提起されました。4号議案の提案では、5つの地区協議会の運営が困難になっている現状を受け、今後、各地区協議会で柔軟な活動の在り方を継続協議する内容の提案となりました。3号議案決算・予算（案）について石塚副委員長・財政部長は、都本部の会計を構成する4つの会計に触れながら、とりわけ一般会計をどう健全化していくか、引き続き組織拡大が課題であると強調しました。質疑・討論では、組織拡大検討委員会による特別報告を含め、各業種や専門部の代議員6名から発言がありました（※裏面参照）

争議報告では、バス関連支部（京王新労組）のたたかいが報告されました。定年後の雇用差別、賃金昇格差別等の不当労働行為に対する不屈のたたかいは続きます。

全ての議案が代議員の全会一致で採択された他、事前に郵送で行われた役員選挙について選挙管理委員が開票作業を行ない、全員の信任が確認されました。その後、大会宣言（案）、東京都トラック運転者最低賃金の新設を求める決議（案）、仲間がたたかう全ての争議を勝利させよう特別決議（案）が、満場の拍手で採択され、清水副委員長の閉会挨拶と団結頑張ろうで閉会しました。参加された仲間の皆さん、また参加を控えて頂いた仲間の皆さん、心から感謝致します。改めて働きながら組合活動をすることに、心からの敬意を表します。働く人が幸せになる、そのための要求実現と、たたかう力は組織拡大、建交労東京都本部が果たすべき役割がますます求められていることを強く感じる大会でした。働く人、そして組合員一人一人に寄り添う組織を目指し、これからも一緒に団結して頑張りましょう！　【笹原　和樹】

東京都本部の事務所を会場にリモート併用で開催しました

■新執行部■

執行員長	松田　隆浩
副委員長	石塚　和
副委員長	清水　文雄
書記長	遠藤　晃
執行委員	青木　実
執行委員	石川　英一
執行委員	江部　明子
執行委員	斉藤　芳和
執行委員	佐々木　仁
執行委員	笹原　和樹
執行委員	永井　英志
執行委員	畠中　博資
執行委員	藤田　誠
執行委員	松崎　守男
執行委員	宮本　禮二郎
執行委員	村上　久美子
会計監査	真田　幸夫
会計監査	高田　桂子

特別報告東部支部書記長　畠中 博資

組織拡大検討委員会の活動について。都本部の組合員減少への対策のため２０１９年に立上げて以降１５回開催。労働相談の実践を検証し課題を共有。組織拡大を実現している労働組合は未組織の非正規労働者を対象としている事を確認。相談件数増加と体制確保のため労働相談員制度を確立し、今現在１４名登録。都本部ＨＰの改修、パンフレットの作成、定期的な街頭宣伝、上部団体との連携、新規加入組合員歓迎会、共済の拡充など、都本部に提言しています。

井住運送支部　石塚 淳 代議員

東京トラック部会の活動について。今年３月、約３年ぶりにトラックパレードを開催した。車両２１台、３０人の仲間が集った。都本部の仲間の沿道激励に感謝します。４月に全国トラック部会主催の街頭宣伝を品川駅等で実施。また、部会幹事会と抱合わせて京王新労組の高尾山宣伝を支援した。７月に東京労働局要請を実施。トラック政策を武器に職場改善、１０月１４日トラックの日行動、要求アンケートの運動等、トラック運輸産業の地位向上を目指します。

建築設計支部　伏谷 政幸 代議員

７月１６日～１７日に開催された全国建設・関連部会第２回建築設計交流集会ｉｎ京都について。建築士の業務報酬についてリモートで議論を重ねてきた。内容・業務量に見合わず低い報酬に抑えられ苦しんでいる実態を全国の仲間と共有した。建政研の市村専務や国交労組笛田副委員長をお招きし広く見識を深めた。祇園祭と同日開催で対面で交流する楽しさも再確認した。大きな力を得る集会となった。建築設計支部としてパワハラについての学習会を計画中。

神田支部　上村 誠 代議員

神田支部として３つ質問があります。①都本部の組合員の減少が深刻な中、議案には組織拡大についての具体的な対策が無い。未組織の職場へ訪問するなど手立てが必要と考えるが、組織拡大についてどのように考えているのか。②直近の執行委員会の議事録から「８つの課題」についての記載が消えている。課題は達成したという認識か。③次期役員の候補から書記次長が消えている。何故書記次長がおりる事になったのか。組織運営に問題があるのではないか。

三多摩地区協議会　特別代議員

西東京バス(株)の二重賃金問題の闘いに支援をお願いします。親会社が京王電鉄である社西東京バス（株）は、子会社の多摩バスを吸収合併した。西東京バス（株）として１つの会社になったにも関わらず、元多摩バスの運転手は賃金を低く抑えられたままだ。同一労働・同一賃金の原則に反したこの１国２制度を許すわけにはいかない。１２月２６日（月）１０時から東京地裁立川支部４０４号法廷にて証人尋問が開催されます。傍聴支援をよろしくお願いします。

東京女性部　宇津井よりか特別代議員

東京女性部は、春と秋の宣伝として昨年１２月門前仲町駅前で「変えるリーフチラシ」と「女性部ウェットティッシュ」を７０セット配布、今年５月にティッシュ１５０個配布した。建交労フェスタｉｎ京都では東京女性部から２名参加した。今後、職場の女性組合員と繋がり交流していきたい。第２２回憲法カフェを１０月１５日（土）１４時～東京都本部７階でリモート併用で開催します。沖縄本土復帰５０周年企画「ちむぐりさ菜の花沖縄日記」を上映します。

東京青年部　学習宣伝企画「世界から核兵器を無くそう」建交労全国青年部反核キャンペーン2022

世界から核兵器を無くそう！をテーマに建交労全国青年部は、毎年反核トラックキャラバンを開催しています。今年は、コロナ禍という事で、それぞれの地域での宣伝行動が提起されました。東京青年部では、反核キャンペーンとして東京都原爆被爆者協議会副会長の山田玲子さんから被爆体験を聞く学習会を開催。小学校５年生当時、広島での被爆体験を語って頂きました。数千の遺体がトラックで運ばれ、小学校の校庭で焼かれるのを目の前で見ていた。黒い犬かと思ったら、丸焦げになったお友達のお母さんだった、など、これらの光景は、永遠に消すことの出来ない惨劇として記憶に刻まれ、人前で話せるようになるまでフラッシュバックとのたたかいだったと、山田さんは話します。悲劇を繰り返してはならない、核兵器はつかうべきでないと、力強く訴えられました。

学習会の後は、門前仲町駅の街頭で宣伝行動を行い、全労連青年部や東京地評青年部の仲間と共に「核兵器無くそう！声を広げよう！」と道行く人々に呼びかけました。

新型コロナの第７波の影響を考慮し残念ながら交流会は中止しましたが、また、みんなで交流できる日が楽しみです。

東京都原爆被害者協議会副会長　山田玲子さん

世界から核兵器を無くそう！

門前仲町駅前で宣伝を行ないました

組合掲示板

■１０月１５日（土）１４時～東京女性部憲法カフェ「ちむぐりさ菜の花沖縄日記」ドキュメンタリー上映会／東京都本部７階会議室（門前仲町）
■１０月２２日（土）生公連第４１回定期総会
■１１月　２日（水）東京労働局交渉
■１１月１０日（木）１１日（金）～建交労秋の中央行動
■１１月１２日（日）１５時～建交労東京都本部業種別学習会・東京建設・関連部会建築設計／東京労働会館地下会議室（大塚駅・新大塚駅）
■１１月２６日（土）～２７日（日）建交労中央春闘討論集会／伊豆長岡サンバレー富士見
■１２月　４日（日）建交労東京都本部２３春闘討論集会※詳細は後日お知らせ
■１２月１１日（日）全国建設政策研究交流集会／福島常磐ハワイアンセンター
■１２月２６日（月）１０時～西東京バス同一労働・同一賃金を求める裁判／東京地裁立川支部４０４号法定